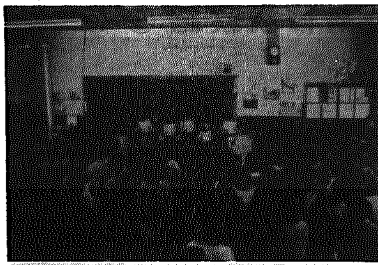
朗読会

木津小学校

木津小学校では毎月、朗読会を開いています。一年生から六年生まで数名ずつが全児童の前で、国語の教科書の中から詩や物語文の一節ずつを読むのです。



1年生の朗読会のようす

自作の作文が読まれることもあります。

おわってから毎回、校長先生から、読み方（めりはりアクセント声の出し方文に即した読み方など）はもちろん、読む姿勢についても、ひとりひとりにご指導をいただきます。

時には家の人たちもお招きします。一年間にどの子どもも一回は出場します。小人数の学年では二回出る子もいます。

この行事も、はじめてから三年目になります。

最近の学校では朗読の機会が少ないようです。しかし朗読のよさは、むかしと少しも変わっていません。

大勢の前で朗読をする経験は、子どもたちにも忘れられない貴重なものとなるでしょう。

参考までに二月の朗読会の題目をかかげます。

一年　ふしぎなたけの子
二年　かわいそうなぞう
三年　白い首輪
四年　山にささげた一生
五年　朗読のしかた
　　　気のいい火山弾
六年　わがおいたちの記

沢海の家庭教育学級

沢海の家庭教育学級は、保育園と小学校の共催で行われており、保育園学級では、母の会の渡辺キヨ子会長を中心として、熱心に学習がすすめられている。

家庭学級のおもな活動を三～四紹介すると、六月十六日、保育園で四名の婦警等を招いて交通安全教室を開き、紙芝居、指人形を使って横断歩道、規則、標識、信号機の見方の指導をうけ、信号の歌を親子一緒に歌い合った。

二月五日は、前横越中学校長の江口先生から、「絵を見て知る子供の心理」について話をきいた。絵によって子どもの心理がわかることを実際の絵を通して説明され、幼時の絵の指導は子どもが絵を描きたくてたまらない環境をつくってやること、そして、そのつど親の助言が大切であることが話された。

一月二十六日は、小学校で公民館の中野主事を講師として、フォークダンス、ママさんバレーを行なった。

二月二十日は、ヨーロッパ旅行をしてこられた神田勝郎さんから、「ヨーロッパの青少年事情」についての講演会をもち、スエーデン、イギリス、ドイツの福祉、教育、暮らしのお話をきき、スライドを見せてもらった。

デンマークでは長い冬の夜を子ども達は、テレビも見ないで本を読んだり、家の人と話をしたりして過ごしており家に帰るとテレビに明け暮れしている日本の子どもとは雲泥の差であること。また、イギリスでは学校は教育、地域は遊び、家庭はしつけと分担して子どもの教育に当っているとのこと。そして、家庭におけるしつけについては、子どもは動物であるとの考え方に立ち、小さい中から他人に迷惑をかけぬよう徹底的にしつけているとのことで、日本における家庭のしつけについて反省させられた。

家庭における子どものしつけに関しで、基本的な態度が見なおされた。

◇家庭教育と子どもの生活

食事時には「テレビを消そう」を合い言葉にして、運動を進めてきている。昨年度に比較してどうなっているのかある学年を例にとりながら話がはずむ。親子の対話がこれをきっかけにして輪を広げていく感じがした。

◇ヨーロッパの青少年教育

国際的に視野を高めるにはその国の事実を知ることである。本邦初公開のスライドを映写しながら新鮮な感覚で学習をする。学校教育、社会教育や人々のくらし方について教養を深めた。特にPTA会員が講師になったことは大きな意義があった。

珠算検定試験実施 49名合格

……横越商工会主催……

去る二月十五日（日）、公民館において、横越商工会主催による珠算検定試験が実施された。小中学生等百三十二名が受験、日頃の練習成果を発揮していた。

この検定試験は年三回実施され合格者には通産大臣の合格証書が授与されます。

次回は六月六日（日）、一般の方も受験できますので、さらに多くの人が受験されるようお知らせいたします。

今回一級の合格者はありませんでした。二級、三級の合格者は、次のとおりです。全体の合格率は約三十七㌫です。

○二級合格者　十名
佐藤　均、加藤　修作
土田　賢一、佐藤　淳子
渡辺　直子、長瀬百合子
山本　順子、田村　祐子
中村喜代美、羽賀知恵子

○三級合格者　十四名
土田　昇、茅原　誠一
高橋信子、久保田美代子
小池さよ子、中川　安広
鈴木　昌二、渡辺　元之
遠藤　明、志田せつ子
残間　洋子、吉田奈緒美
丸田かよ子、佐藤千代子

県農業者実績発表会で優勝

――（わが家の養豚）――

小杉　石川清一さん

養豚をはじめた動機は、現在の農業情勢を考えた場合、耕地面積二㌶以下ではとても生活の保障はできません。経営面積の拡大も現状からみて困難な問題であり、そこで新部門の開拓を必要とし、友人が養豚をやっていたこと、資金回転の早い養豚を選び、昭和四十七年、五十平方米の豚舎を宅地内に建て、肥育三十頭位飼っていましたが、子豚代、飼料代を差引くと手もとに残る金額は少なく、一頭でも多く飼うことだと思い、少しづつ規模を拡大してきました。次第に環境汚染問題がとやかくいわれ、宅地養豚では規模拡大が困難で、ふん尿も土地環元をしていたが、自分だけの土地では限界があり、同僚も同じ悩みをもっていました。

同じ悩みをもつ同志と悩みの解消のため昼夜をとわず話し合い、又県内、県外を視察し検討を重ねました。団地にした場合、ふん尿処理は共同でやれる。技術向上にお互いの力を出しあえば早期に解決し、良質の肉生産に結びつき経営上大きなプラスになると考え、昭和四十九年の正月、団地造成を決意しました。

しかし、土地の選定には、二転三転し苦労して、結局住宅から三百米程離れた一等田を百十二㌃程確保し、総工費八千万円を投入し、昭和五十年四月に完成しました。団地造成にあたっては、県の補助金をいただき又村、農協、土改から協力をいただき完成しました。私も団地内に第一次計画とし、肉豚二百頭規模の豚舎を建て、多頭化への第一歩をふみだし、団地全体としても順調に伸びてきております。繁殖面では、計画としては、離乳頭数八頭実績では九・三頭で育成八十四㌫であった。肉豚では上物率六十㌫で管内の四十㌫に比較して、まずまずの成績でした。出荷方法は、生体五十㌫、枝肉五十㌫といずれも農協出荷にしております。

枝肉出荷したものについての格落金額を調べてみたら、一㌔当り二十四・九七円という数字が出て、今後肉質改善に努めたい。

今後の目標

①繁殖豚五十頭、肉豚常時四百頭規模。
②繁殖豚に緑飼を与え飼料費の軽減と種豚の健康管理。
③良質肉豚の生産。

私は、農業を生涯の職業と志した限りは、目的達成のために、今までの経営を反省し体験を生かし、積極的に経営改善をはかりたい。

『経営の改善は記帳から』ということで、グループで複式簿記をはじめ、月一回普及所の指導を受けております。

このたびの大会に参加して県内各地から集まった若者の実績発表を聞き、又意欲的な意見を聞き、自分自身考えさせられた面があった。やはりもっと努力して、一日も早く安定した経営の基盤を礎き、あすの農業をになう若者の一人としてがんばる覚悟です。

豚舎をみる石川さん

小杉の社会教育

小杉における社会教育関係となると、やはり、婦人学級と父親学級の二学級が上げられよう。

どちらも例年実施しているものであるが、今年実施したもので、婦人学級の今までと変わったものについて、初めにご紹介しようと思う。

料理、生花、手芸あるいは着付教室は毎年のことであるが今年はまず、音楽教室と、スポーツ教室が加わった。これはそれぞれ、学級が開かれる前とか後に、小学校の音楽の先生に伴奏をお願いして、民謡や童謡にかわいい声?をはりあげたり、卓球や排球に興じて、ストレスを解消し、大いに若返ろうというものである。

もうひとつ今年新しく実施したものは、野外教室――五頭登山であった。

折悪しく分館長は、参加できなかったが、七月二十七日の晴れた日曜の一日、学級生一同、腹の底まで、五頭山頂の空気を吸いこんできたことであった。

父親学級の方は、年にわずか一回の開催であるが、今年も「しつけとユーモア」という映画を見たあと、いろいろと、家庭における子供たちのしつけについて、種々話し合いがなされた。

「しつけについて、あまりにも学校に頼りすぎてはいないだろうか。」「父親は、しつけを母親に、まかせっぱなしではなかろうか。」といったことから、現在のような高学歴社会になると、とにかく子供が、よい学校にさえ入ってくれればよい。そのため、一にも二にも勉強で、しつけにまでは手がまわらないのが実状ではなかろうか、といった深刻な問題もとび出し、なかなか活発な話し合いであった。

横越小の家庭教育学級

救急法、民踊等実施

世話役のお母さんが、各部落から二名ずつ選出され、学習主題、方法、講師などについて話合いをして活動をすすめてきました。

学習内容の一部を次にあげてみます。

◇民　踊

大運動会に参加することを前提にして、子どもと学級生がいっしょになって楽しみ、体を動かしておどりを覚える学級生のお母さん方の楽しさが息のはずみと、あふれる熱気で体育館をおおった。

◇救急法の講義と実技

救急法といえば、すぐ水難救助を思いだす。だが災難はやけど、高いところからの落下、出血時の手当など不時に直面する災害にどう対処したらいいのか、時に臨んで茫然としてなすすべを知らないではこまる。と声をはりあげたり、笑わせたりしながら、指導をする。学級生も自分の体験をとおして、質問を出し、時間の経過を忘れさせた。

◇家庭生活と健康習慣

歯みがき、顔あらい、食事時の手あらいなど、調査をもとにして、グラフや表で健康習慣の実態をあきらかにしていった。

経済講演会のおしらせ

横越村商工会では次のとおり経済講演会を開催します。入場は無料です。どなたも気軽においで下さい。

○日時　三月十八日（木）
　　　　午後一時
○会場　横越村公民館
○テーマ　今後の日本経済の見通し
○講師　井村和朗氏
　　　・NHK解説委員長

庭園しようかい

今まで第一頁の題字写真についてはいろ〳〵のものをのせてきました。

昨年は「働く」というものを取り上げてきました。

今年は、村の中で昔から残っている"庭園"を載せることにしました。そこでみなさんの中でこれらを知っておられる方がありましたらおしらせ下さい。